

2006年度第6回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2007年(平成19年)3月7日(水) 15:30～16:10

場所：L-911

出席者：計 75名

欠席者：計 43名

配布資料：

A. 当日配布資料

1. プレスリリース及び学校法人格付一覧表
2. 2007年度長期計画企画拡大会議開催日程

B. スライド資料

1. 上智大学創立100周年記念事業募金活動について

議 事

1. 収入源の多様化について(S&P社格付け等)

小瀬垣財務担当理事(財政計画等検討専門委員会委員長)から、標記配布資料に基づき、2007年2月14日付けのスタンダード&プアーズ社による上智学院の格付けに関するプレス・リリースについて報告があった。

- 格付けは、「AA」に据え置かれ、アウトLOOKは引き続き「安定的」とされた。格付けの要因としては、知名度、立地、国際性、安定的な学生確保、職員の人事制度、監査体制を評価し、一方で付属校を持たないことによる多様性の少なさ、卒業生が少ないことによるネットワーク力の弱さを弱みとしている。
- 今後の格上げには、学生の選好度の引き上げ、学生の多様化、外部からの研究資金の受け入れ、国際的な教育・研究面での競争力向上が必要となる。
- 同一大学の評価であっても、格付け会社により上下する。また、ハーバード大学の基本財産額、資産運用額、学生歩留まり率等の状況をみると、格付けと学生歩留まり率がパラレルの形となっている。
- スタンダード&プアーズ社の格付けをとる理由は、同社の格付けが世界標準で行われており、本学が世界のどの位置にあるかを判断できるというメリットがあるためである。

2. 創立100周年記念事業募金について

小瀬垣財務担当理事(財政計画等検討専門委員会委員長)から、標記スライド資料を基に、創立100周年記念事業募金活動について説明があり、今年度末には寄付申込書ベースで10億円の募金を達成したいと報告があった。

募金を受けたことによる学内企画としては、2007年4月から優心奨学金制度の創設、グローバル・リーダー養成奨学金制度創設の検討、高額寄付者の図書館「特別館友会員」としての顕彰がある。また、企業への募金活動においては、寄付を行うことにより本学のどこに貢献できるかを明確に説明されることを企業は求めている。その方策の一つは、寄附講座であるので、各教員の企画への協力について要請があった。

《質疑応答》

Q. 企業からの新入社員研修の要望について寄附講座としての取扱いを申し出たが、断られた。寄附講座の柔軟な対応について検討いただきたい。

A. 今年の秋に、「知財本部」の立ち上げを検討している。知財本部は、一般的な特許申請、管理等のみでなく、教員の知識の利用についても検討するので、その一環として考えていきたい。(池尾学務担当副学長)

3. 2007年度長期計画企画拡大会議 開催日程について

高祖理事長から、標記資料を基に「2007年度長期計画企画拡大会議 開催予定日」について説明があった。次回は、2007年6月6日(水)15:30から、L-911で行う予定であるが、詳細は別途通知する。

以上